

秋のスペシャル
スクープ袋とじ 宗政美貴「フルヌード」

初公開 M・モンローの歴史的裸身も! プレイボーイ50年のハダカ

週刊現代 平山あや 微熱ビキニ
9.11 小泉テロの決算号 濱田のり子 熟女の性愛
久米宏古館伊知郎を潰す

9.11 小池百合子、片山さつき、佐藤ゆかりが大臣になる

小泉「アマゾネス内閣

星野仙一 真相はコレだ!

9・13に誓うG軍入り

スクープ 小泉の元義兄
懲役4年判決の波紋

ホリエモンはマジだった
カープを30億円買収

野村克也 長生き法
異色対談 名将が主治医と60分
ベストな食事

対談 小泉庄勝×金子勝
森永卓郎で大増税

徳大寺有恒
「レクサス」の魅力&弱点

いいのか、ニッポン!?

2005年9月24日 特別定価350円

異常気象 東京がミシシッピー並みに水没
殺人台風が秋上陸する!
ニッポン



国際化の広がりが進む今日の家族や社会のあり方を考える

外国人に行つたまま、日本に戻つてこない友人や子供がいる人は案外多いのではないか。実は我が家にもそういうのが一人いるのだが、日本に残つた者は心配しつつ見守るほかはない。当人自体が異国に根をおろすのか、帰国している間にになるのか、決めかねているから、周りの者がどうしていいか分かるわけがない。

日本人の、特に女性の行動半径は広がつたものとつくづく感心する。家の近所でも外国人を夫とする若い女性が5人もいる。彼女たちは夫を日本に吸引して繋ぎとめたのだ。となれば、周りの者も早ろうが、逆に外国に吸引されで向こうで定着しようとする日本の国際離婚を考えなければな

松尾寿子『国際離婚』(集英社新書、714円)は一読して、目のうつぱりが取れる本である。お互い日本人の男女が日本で離婚しても、ことはかなり面倒である。日本に居を定めて、日本で外国人配偶者と離婚する場合にはある程度日本人同士のケースから類推が利くはずだが、外国で外国人配偶者と離婚する場合の困難さといったらない。

たとえば夫婦の間に子がないとして、子が幼いとき日本人妻が抱いて一緒にバスタブに入ったとする。外人の夫はそれを写真に撮つた。離婚裁判となれば、夫がそれを持ち出し、子に対する妻の性的虐待を立証する材料にして、親権は自分にあると主張する場合があるという。

対してイスラム圏では案外妻側の権利が尊重されているらしい。というのは結婚は花婿と花嫁の契約と解され、日本本の結納金に当たる「マフル」の慣習などがあるからだ。たとえば1000万円のマフルが設定されたとして、結婚時に夫にカネがなく、1万円を前払いした場合、残り999万円は後払いになり、それは夫が妻に借金したことになる。この後払い金は夫が死ぬか、離婚したとき支払われる。つまり夫が先に死ねば、妻に支払われた後、遺産分与がスタートするという。

『ジーニアス・ファクトリー』の奇妙な物語』（酒井泰介訳、早川書房、2100円）は調査と取材が行き届いて、きわめて面白いノンフィクションである。

パンクを利用した母親たちと、生まれた子供たちの一部は誰が精子を提供したか、自分の父親になったのはどのような男か知りたがつた。ここから著者の精子探偵の旅が始まる。探索の結果がどうだつたかは本書に当たつてほしいが、興味深いのはケンブリッジ大学のパリー・ケヴァーンらの研究である。



■この欄は鴻上尚史、河上和雄、上野千鶴子、溝口敦の4氏によるリレー連載です

みやぐる・おつし・バルイターとして
社会の暗部を暴き、創価学会批判も説いた。
33年には「食肉の帝王」回音をつかんだ男
浅田清一で講談社ノンフィクション賞を
受賞。「夢は山口組vs.一和会」他著書多数

日本人妻の実家が娘と孫か
わいさに娘夫婦の自宅購入の大半を資金援助するケースも要注意らしい。離婚裁判になれば、夫側が平然と自宅売却代金の半分を要求する。夫が妻の実家から購入代金を借用したことなどが証明できないかぎり、半額は別れる夫の手に渡ることになる。

る。外国人に親戚ができるは気む。軽に遊びに行ける、外国に別荘ができるも同じ、などと浮かれる場合ではない。結婚する当人も周りの者も、それこそ一生を掛ける商業契約と受けとめる必要がある。それだけの覚悟と事前の制度や慣習への調査がなければ、踏み切るべきでないことが本書を読んでよく分かった。

最初に優生学を実践したのは米国で、19世紀後半から1930年代までの50年間、米国を席巻したという。本書で初めて知ったのだが、ヒトラーによる北欧ゲルマン系優越主義や断種法、ホロコーストが教科書にしたのは一般に考えられているのとは逆向きで、アメリカに発したらしい。グラハムは歴史的に否定さ